

## &lt;2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿&gt;

人と自然が調和し、地域で循環できる仕組みを通してすべての農業の発展に貢献していきます。  
高齢化の問題や、農業に関する資材の価格高騰、原料不足による商品不足、人手不足による事業承継がうまくいかな  
いなど、様々な課題を解決できる企業を目指してまいります。

## &lt;SDGsに関する重点的な取組み及び指標&gt;

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	次世代のための人材採用と人財育成 農業には担い手が非常に少なく、若い力でイノベーションを起こし、業界を変革していく必要があります。 毎年高校生新卒への説明会と採用活動を行います。(7月～10月)	新卒採用数 2024年0名→2027年3名
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	持続可能な農業の研究・開発・普及 地域循環型の有機肥料や、堆肥などを研究・開発を行い、普及していくことで、環境にも配慮した持続可能な農業が発展していきます。 地域から出る原料で有機肥料を1つ開発に取り組みます。	有機肥料製造量の増加 2024年200t→2027年300t (1.5倍)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	高齢化による課題解決や生産性向上に寄与するサービスの開発 農業の高齢化は深刻であり、イノベーションを通して安心して仕事をするためのサポートをサービスを通して行い、持続可能な農業を支えます。 肥料散布代行サービスの構築に取り組みます。	ドローンによる農薬散布代行サービスの面積増加 2024年180ha→2027年360ha (2倍)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標**を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

## &lt;パートナーシップ&gt;

業界にイノベーションを起こすための新卒採用はハローワークをはじめ、各地域の高校と連携します。  
地域循環の肥料開発・製造のために、地域のライスセンターや家畜舎と連携します。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

## &lt;SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況&gt;

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	無人ドローンやスマートモビリティを活用し、農業生産の効率化に寄与します。	農業生産者人口の増加と取引先農家様の農作業時間50%削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	農業用ドローンを活用し、取引先農家の作業時間の削減には貢献できたと思うが、新規就農者等の農業生産者人口の増加には繋げることができませんでした。	取引先農家の作業時間の大幅な削減ができました。 動噴30分/10a→ドローン2.5分/10a
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	畜産及び農業の産業廃棄物から堆肥を生産し、農業に還元することで、持続可能で循環型の経済を構築します。	有機物資材の販売量30%増加
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	もみから、牛ふん、鶏ふん、卵殻を活用した有機肥料、堆肥を生産し、生産量は増えましたが販売量は伸びませんでした。	販売量は横ばいでした。 課題は、高齢化や人手不足で利用することができないという部分で、その課題をサービスで解決したいと思えます。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	農業の最新技術を普及する指導員の育成を行います。	新卒採用の実施 2021年度まで未実施 2024年度までに3名採用
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	2021年からは3名の社員を採用しましたが、新卒採用に繋がらなかったため、すべて中途採用となりました。 中途社員については農業の技術を普及する指導員として現在精力的に職務を全うしていただいております。	新卒採用の実績0人 高校生への企業説明会を行いました が、エントリーや面接には至りませんでした。 こういった認証制度が功を奏せばと思います。

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載**してください。